NO. 190321

費用対効果評価の導入にともない開発部門やマーケティング、営業部門など
他部門の方も知っておくべき基礎知識と実務ポイントを解説！

1名分料金で
2人目無料

はじめから学ぶ薬剤経済学

◆日時：2019年3月27日（水）12:30～16:00
◆会場：江東区産業会館　第1会議室
◆聴講料 ： 1名につき49,980円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき47,250円
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,980円）
※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
（ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。）

セミナーお申込みFAX
０３－５８５７－４８１２
※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：明治薬科大学　教授　PhD（公衆衛生学）　赤沢 学　氏

《ご専門》薬剤経済学、薬剤疫学
《ご略歴》1986年3月　明治薬科大学　薬学部　製薬学科　卒業（薬剤師）
2001年5月　米国イエール大学公衆衛生大学院　MPH取得
2007年5月　米国ノースキャロライナ大学公衆衛生大学院　PhD取得
2009年7月　金沢大学　医薬保健研究域薬学系　准教授
2010年7月　明治薬科大学　薬学部　教授
《ご活動等》ISPOR日本支部評議員（2015～）理事・次期会長（2018～）、社会薬学　編集委員長・常任幹事（2010～）

医療に関しては「人の命に値段や優劣をつける」のは好ましくないという考えから、経済評価はなじまないと言われてきた。しかし高騰する医療費をなんとか抑制しようと、先進国を中心に1990年代から薬剤経済学は意思決定に利用され始めている。日本でも、医薬品や医療機器の価格設定に利用するために、2015年より中央医療協議会（中医協）の場で議論が始まり、2018年現在、費用対効果評価の試行的導入が実施されている。この薬剤経済学は、薬物治療にかかる費用と薬物治療によって避けられる費用や得られる効果を天秤にかけて比べる。そのときに必要となる「費用」とは、「効果」とは、「分析手法」とは、といった用語や方法論について理解して貰うために、初学者を対象にはじめからから解説する。なお、この講義の内容は、国際的に共通で使われている手法であり、教科書も数多く出版されているので、より詳しく知りたい方のために、参考文献なども紹介する。

1. はじめに
- 1.1 医療の経済評価はなぜ必要か
- 1.2 医療経済と薬剤経済の違い
- 1.3 費用対効果の考え方
- 1.4 増分費用効果とは
- 1.5 投入と結果を比較する

2. 病気に関するお金の話
- 2.1 病気の値段とは
- 2.2 医療費の推計について
- 2.3 患者・家族の負担
- 2.4 生産性損失
- 2.5 支払い意思額

3. 薬物治療の効果の話
- 3.1 効能と効果
- 3.2 患者アウトカム
- 3.3 生存期間
- 3.4 ネットワークメタアナリシス
- 3.5 QOLとQALY

4. 費用と効果を比べる
- 4.1 費用効果分析
- 4.2 費用効用分析
- 4.3 費用便益分析
- 4.4 モデル分析
- 4.5 不確実性・割引

5. おわりに　薬剤経済分析の実例（国内の研究事例を中心に）

【質疑応答・名刺交換】

『薬剤経済学』セミナー申込書

会社・大学			
住　所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E－Mail
①		
②		

会員登録（無料）　※案内方法を選択してください。複数選択可。　□Eメール　□ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●
必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy

R & D SUPPORT CENTER
株式会社Ｒ＆Ｄ支援センター
〒135-0016　東京都江東区東陽3-23-24　VORT東陽町ビル7階
TEL）03-5857-4811　FAX）03-5857-4812　URL）https://www.rdsc.co.jp/